

下記の①～⑤（貸付上限額が20万円となる要件に該当する方は⑥まで）の必要書類を揃え、同封のレターパックに入れ、お近くの郵便ポストに投函してください。（切手貼付不要）

### 緊急小口資金（特例）に必要な書類

#### ①同封の書類（次のすべて）

- 生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付借入申込書（押印2か所）
- 生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付借用書（押印2か所）
- 生活福祉資金に関する重要事項説明書（押印1か所）

#### ②世帯の状況を把握するための書類

- 住民票（居住者全員の記載があり、本籍地の記載があるもの）

#### ③本人確認書類（次のいずれか1つ）

- 運転免許証（写）
- パスポート（写）
- マイナンバーカード（写）、住民基本台帳カード（写）
- 健康保険証（写）
- 上記のものがない場合、現住所・氏名が表記された公共料金等の郵便物

#### ④稼働収入の減少が確認できる書類

**※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、以前と影響後の減収が確認できる書類**

**<自営業・フリーランスの場合>（いずれかの書類 ※組み合わせでも可）**

- 売上を記載した帳簿（写）
- 収入（元請けからの入金等）が記載された預貯金通帳（写）
- その他（所得課税証明書(原本)・源泉徴収票(写)・入金額のメモ等）
- 収入の減少状況に関する申立書（確認書類が無い場合）

**<社員・派遣社員・パート等>（いずれかの書類 ※組み合わせでも可）**

- 給与明細書（写）
- 給与等の振込みが記載された預貯金通帳（写）
- 雇用主からの休業通知等（写）
- 離職票（写）
- その他（所得課税証明書(原本)・源泉徴収票(写)・入金額のメモ等）
- 収入の減少状況に関する申立書（確認書類が無い場合）

#### ⑤指定口座が確認できる書類（次のいずれか1つ） ※ゆうちょ銀行も可

- 預貯金通帳（写） ※見開き1ページの口座記載部分
- キャッシュカード（写）

※減収となる前と後の比較ができるものを提出してください。（例：コロナの影響がなかった1月の給与明細と影響を受けた3月の給与明細の2か月分など）

※減収が確認できる書類がない場合は、仕事や収入が減ったことを記載した資料を提出してください。

**（いずれも提出困難な場合は、同封の申立書を提出してください）**

### ～ 貸付金額の上限額が20万円となる場合に必要な書類 ～

#### ⑥貸付金額の上限額（10万円）を超える理由が分かる書類

- （理由）世帯員が4人以上 ⇒住民票で確認します
- （理由）臨時休校した小学校等に通う小学生以下の子がいる ⇒申込書に休校の旨を記載
- （理由）世帯員に介護が必要な人がいる ⇒介護が必要な状況がわかる介護保険証(写)など
- （理由）世帯員に自営業・フリーランスの労働者がいる  
⇒名刺・確定申告の写しなど自営・フリーランスであることが分かるもの